

第四六二回（九月二六日開催）

出席委員（五十音順・敬称略）

朝野 富三	荒巻 裕
大村 英昭	木下 明美
倉光 弘己	黒田 勇
櫻井 美幸	森 輝彦

テレビ報道番組

「VOICE」

9月10日（月）11日（火）

午後6時21分～56分 放送

分中心

荒巻委員

私は地域局が制作するニュースのカギは三つあると思う。まず独自の良質なミニ特集の提供。次にキャスターグループの魅力。さらに各局横並びの共通ニュースの分析力。

これらが相まってこそ、日々の暮らしの中で今起きていること、またそれが意味することを、わかりやすく伝えることができると思う。

倉光委員

ニュース番組の一番のポイントは、視聴者の疑問に対してきちんと答えることである。解説はもちろん必要だが、ニュースによっては、ちょっとした説明があるだけでも親切だと思う。そのためには、キャスター相互の会話、コメントに、もう少し工夫があるとさらに良くなるのではないかな。

木下委員

まず好感を持ったのは、台風の解説で「速度は人がジョギングしているペース」だと、分かりやすく表現していたことだ。

また兵庫の少女監禁致死事件で、少女の名前を匿名にしたのは被害者の人権を守る意味で評価したい。一方容疑者の教師については、取材した情報をよくまとめたと思う。

黒田委員

女性キャスターは、取材記者としての経験、特性をもっと生かしたら、ワイドニュース番組の「しにせ」ならではの魅力が出てくるのではないかな。

教師の犯罪のニュースは、関西ローカルとして事件の背景に迫ろうという姿勢が見られ、東京のニュースにはない視点を評価したい。

朝野委員

教師の犯罪のニュースで、被害者の名前を匿名にするという判断は、新聞でも非常に難しい問題だ。実名か匿名かの判断の基本は、抑制をしていくということと、一貫性を持たせることだと思う。実名表記の原則は崩さないが、抑制をどうきかせるか、大いに議論が必要だ。

櫻井委員

キャスターのコメントが少ないのは、ニュースを事実として伝えることに重点を置いているからではないか。その姿勢自体は評価したいが、淡々と放送しているニュースにも、問題提起がたくさん含まれているので、特集という形で掘り下げることが必要だと思う。

大村副委員長

キャスターとアナウンサーはどう違うのかという点と、少女の名前を匿名にした経緯をぜひ聞いてみたい。

また、この番組が終わって次の番組が始まるまで、7分間もCMを見せられるのはたまらない。なにか工夫してほしい。

森委員長

報道番組の基本はストレートニュースではないかと思う。「VOICE」の中でも、可能な限り大阪発のストレートニュースを速報性を生かしながら数多く伝えることが必要だ。その基本を、さらに強化していくことこそ大切ではないか。

テレビ・ラジオの10月編成について

テレビ・ラジオの10月編成の特徴について、上田編成局長、田中ラジオ局長が報告した。

